

令和2年 厄年・年祝・星厄等 一覧表

西野神社

表中に生年が載っていない方は、本年については、どの厄にも年祝にも当たっておりません

生年		年齢		厄年		人生儀礼・年祝		八方・星厄
元号	西暦	数え年	満年齢	男性	女性	男性	女性	(男女共通)
令和 2	2020	1	0	年男	年女	初宮詣		八方(七赤金星)
平成 30	2018	3	2			七五三		
平成 29	2017	4	3					星厄(一白水星)
平成 28	2016	5	4			七五三		
平成 27	2015	6	5					星厄(三碧木星)
平成 26	2014	7	6				七五三	星厄(四緑木星)
平成 23	2011	10	9					八方(七赤金星)
平成 20	2008	13	12	年男	年女	十三詣		星厄(一白水星)
平成 18	2006	15	14					星厄(三碧木星)
平成 17	2005	16	15					星厄(四緑木星)
平成 15	2003	18	17		前厄			
平成 14	2002	19	18		本厄			八方(七赤金星)
平成 13	2001	20	19		後厄			
平成 11	1999	22	21					星厄(一白水星)
平成 9	1997	24	23	前厄				星厄(三碧木星)
平成 8	1996	25	24	本厄 年男	年女			星厄(四緑木星)
平成 7	1995	26	25	後厄				
平成 5	1993	28	27					八方(七赤金星)
平成 2	1990	31	30					星厄(一白水星)
昭和64・平成元	1989	32	31		前厄			
昭和 63	1988	33	32		本厄(大厄)			星厄(三碧木星)
昭和 62	1987	34	33		後厄			星厄(四緑木星)
昭和 60	1985	36	35		前厄			
昭和 59	1984	37	36	年男	本厄 年女			八方(七赤金星)
昭和 58	1983	38	37		後厄			
昭和 56	1981	40	39					星厄(一白水星)
昭和 55	1980	41	40	前厄				
昭和 54	1979	42	41	本厄(大厄)				星厄(三碧木星)
昭和 53	1978	43	42	後厄				星厄(四緑木星)
昭和 50	1975	46	45					八方(七赤金星)
昭和 47	1972	49	48	年男	年女			星厄(一白水星)
昭和 45	1970	51	50					星厄(三碧木星)
昭和 44	1969	52	51					星厄(四緑木星)
昭和 41	1966	55	54					八方(七赤金星)
昭和 38	1963	58	57					星厄(一白水星)
昭和 36	1961	60	59	前厄				星厄(三碧木星)
昭和 35	1960	61	60	本厄 年男	年女	還暦		星厄(四緑木星)
昭和 34	1959	62	61	後厄				
昭和 32	1957	64	63					八方(七赤金星)
昭和 29	1954	67	66					星厄(一白水星)
昭和 27	1952	69	68					星厄(三碧木星)
昭和 26	1951	70	69			古希		星厄(四緑木星)
昭和 23	1948	73	72	年男	年女			八方(七赤金星)
昭和 20	1945	76	75					星厄(一白水星)
昭和 19	1944	77	76			喜寿		
昭和 18	1943	78	77					星厄(三碧木星)
昭和 17	1942	79	78					星厄(四緑木星)
昭和 16	1941	80	79			傘寿		
昭和 14	1939	82	81					八方(七赤金星)
昭和 11	1936	85	84	年男	年女			星厄(一白水星)
昭和 9	1934	87	86					星厄(三碧木星)
昭和 8	1933	88	87			米寿		星厄(四緑木星)
昭和 6	1931	90	89			卒寿		
昭和 5	1930	91	90					八方(七赤金星)
昭和 2	1927	94	93					星厄(一白水星)
大正 14	1925	96	95					星厄(三碧木星)
大正 13	1924	97	96	年男	年女			星厄(四緑木星)
大正 11	1922	99	98			白寿		
大正 10	1921	100	99			百寿(紀寿)		八方(七赤金星)
大正 7	1918	103	102					星厄(一白水星)
大正 5	1916	105	104					星厄(三碧木星)
大正 4	1915	106	105					星厄(四緑木星)

【年齢について】

年齢の数え方として現在一般的に使われているのは、戦後広く普及するようになった「満年齢」ですが、**厄年はいずれも満年齢ではなく「数え年」**です。

我が国で古来から使われてきた「数え年」は、0歳が無く、生まれた年を1歳とし、以降、毎年元日を迎える度に1歳ずつ加算していくという数え方です。

具体的には、その年の誕生日を既に迎えている場合は満年齢に1を、その年の誕生日をまだ迎えていない場合は満年齢に2を加算すると、その方の数え年になります。

なお、左の表では、数え年の右隣に満年齢も併記しておりますが、表中の満年齢はいずれも、その方が今年の誕生日を迎えてからの年齢となります。

【厄年について】

厄年は、古来より**男性は25・42・61歳、女性は19・33・37歳が「本厄」とされており、それら本厄の中でも特に、男性の42歳と女性の33歳は「大厄」とされています。**

また、それぞれの本厄の、前年の歳は「前厄」、翌年の歳は「後厄」といいます。

但し、何歳を厄年とするかについては、地域や社寺によっても差異があります。左の表はあくまでも西野神社に於ける一覧表であり、他所の社寺や団体等が作成している一覧表とは、内容が一部異なる場合があります。

【人生儀礼について】

「初宮詣」は、男児は生後31日目、女児は生後33日目、もしくは、性別に関係無く生後100日前後に、祝い着を着てお参りをするのが一般的とされています。

しかし、赤ちゃんの身体はまだ抵抗力が弱いので、あまり日数に拘らず、赤ちゃんの体調が良い日、暖かい日や天気の良い日などを選んでお参りされると良いでしょう。

「七五三」のお参りは、全国的には、11月15日もしくは11月中に行うのが一般的ですが、北海道は主に気候の関係から全国よりも1ヶ月早く、10月15日もしくは10月中に行うのが一般的です。

七五三のお参りは、本来は数え年に合わせて行いますが、近年は、満年齢の7・5・3歳に合わせて行う事も増えています。

【八方・星厄について】

運勢盤(九星方位吉凶表)で中央に位置する星の年は「八方ふさがり」といわれ、今年は「**七赤金星**」の方がその年に該当します。

また、運勢盤で九曜星の巡りが、北東(表鬼門)、南西(裏鬼門)、北の向きに巡った年は、それぞれ星祭厄年(星厄)となり、今年は、「**一白水星**」(北東)、「**四緑木星**」(南西)、「**三碧木星**」(北)の方がそれぞれ該当します。

但し、いずれの場合も、**元日から2月節分までの間に生まれた方は、その前年生まれの人と同じ九星になります**ので、1月や2月上旬にお生まれの方は御注意下さい。

節分は、大正元年以降では、大正元・3・4・5・8・9・12・13年、昭和2・3・6・7・10・11・14・15・18・19・22・23・26・27・31・35・39・43・47・51・55・59年が「2月4日」で、それ以外の年は「2月3日」でした。